

指定管理者TTHAグループの管理運営がスタート



平成24年4月1日よりTTHAグループが指定管理者として青森県立郷土館を管理運営することになり、当館エントランスホールでセレモニーが開催されました。これを機に、今まで以上に県民の皆様から信頼され、愛される施設になれるよう、職員一丸となって努力して参りたいと思いますので、今後もよろしくお願ひ致します。

工藤静香展、京都・清水三年坂美術館展が無事終了



マルチアーティストとして活躍されている工藤静香さんの絵画展が、4月21日から5月27日まで、当館で開催されました。2010年の第95回二科展特選の「瞳の奥」をはじめ、入選作品を中心に約50点が展示されました。オープニングセレモニーには静香さん本人も来館し、トークショーやサイン会でファンと交流しました。延べ37日間で、1万3千人を超えるお客様が来場しました。



京都・清水三年坂美術館の所蔵品を紹介する展示会が、6月8日から7月16日まで開催されました。幕末から明治にかけて制作された日本の細密美術作品が、テーマごとに約120点展示されました。7月1日には、清水三年坂美術館の村田館長も来館し、ギャラリートークが開催されました。村田館長の話にじっくりと耳を傾けながら、作品を熱心にご覧になるお客様が多く、大変好評でした。

民俗展示室リニューアル



昨年度末2、3月の休館中に行われていた改修工事が無事終了し、3階民俗展示室の一部が模様替えされました。主に「風雪とたたかう人々」「人々の暮らし」「馬との生活」のコーナーが新しくなりました。来館した際は、

リニューアルされた民俗展示室に、足を運んでみて下さい。

Pick Up!



©手塚プロダクション

9/1(土)～9/30(日)まで、TTHAグループ・郷土館共催「手塚治虫展-あしたへの夢と勇気があふれ出す-」が、当館で開催されます。生涯15万部もの原稿を制作し、「漫画の神様」と称えられる手塚治虫。直筆原稿や愛用品など約200点の貴重資料を通して、その人と作品に迫ります。

これからのイベント情報

特別展・企画展(7月～12月)

- ◆「学制公布140年記念 ぼくらのがっこう」7/25(水)～8/26(日)
- ◆「手塚治虫展-あしたへの夢と勇気があふれ出す-」9/1(土)～9/30(日)
- ◆「寄贈記念 成田彦栄コレクション」10/10(水)～11/7(水)
- ◆「生誕130年記念 植物学者 郡場寛」11/16(金)～12/16(日)

イベント

- ◆「郷土館クイズラリー」7/21(土)～8/26(日)
- ◆「夏休みこどものくに」
  - ①「ぼくらのがっこう」科学クラブ 7/29(日)
  - ②君も化石博士! かっこういい化石レプリカをつくろう(7) 8/5(日)
- ◆「あおり街かど探偵団」9/15,22(土)
- ◆「秋の自然観察会」9/23(日)

総合博物館 青森県立郷土館だより Vol.43 No.1 通巻153号 2012.7.20

【編集・発行】青森県立郷土館/TTHAグループ  
〒030-0802 青森市本町二丁目8-14

【TEL】017-777-1585  
【FAX】017-777-1588



総合博物館

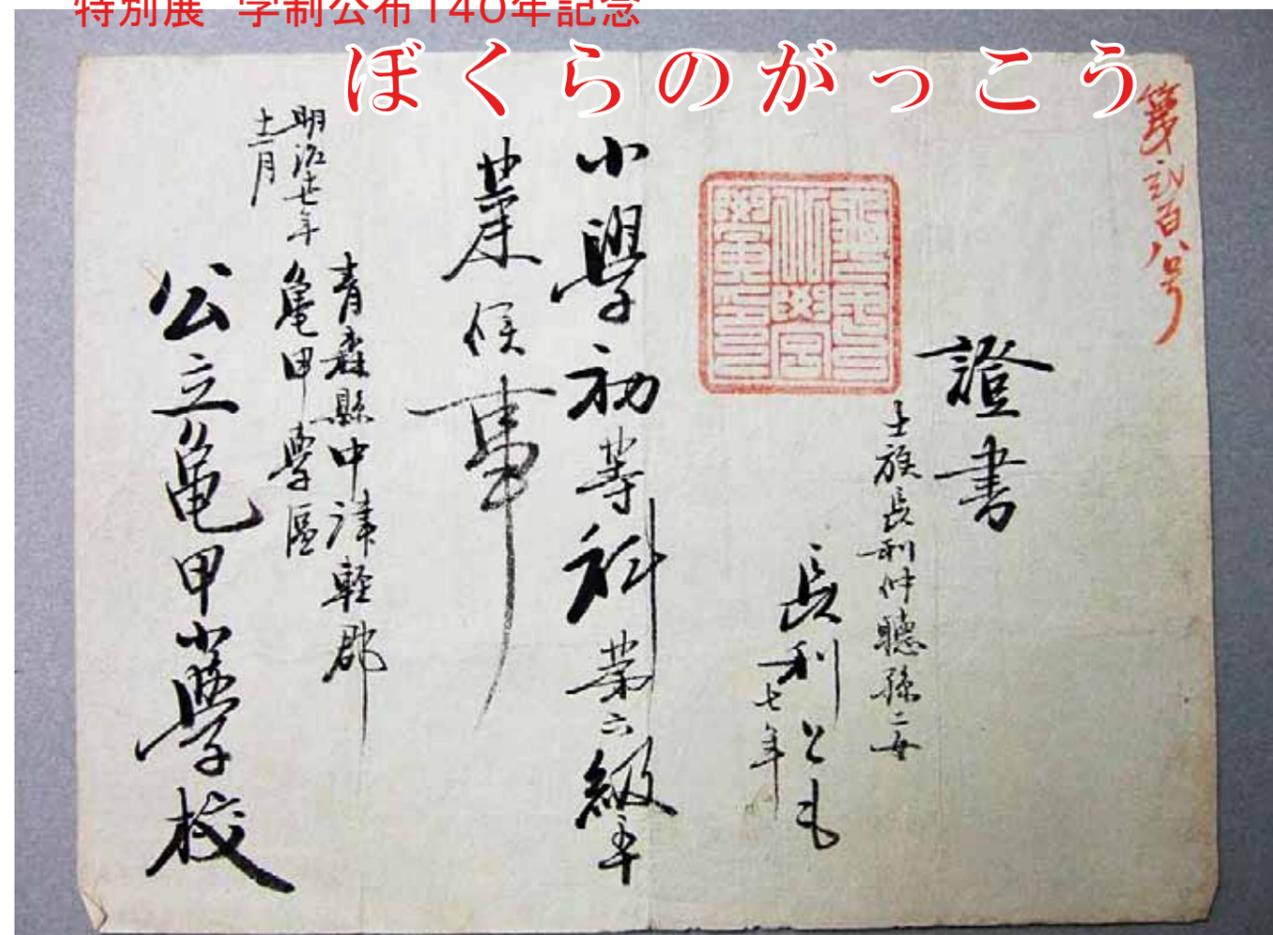
青森県立郷土館だより

News from the Aomori Prefectural Museum

通巻153号 平成24年(2012)7月20日 Vol.43 No.1

特別展 学制公布140年記念

ぼくらのがっこう



弘前市亀甲小学校の卒業証書。長利ともの祖父仲聴は、弘前熊野宮の宮司で高名の学者(当館蔵)

江戸幕府は儒学の一派「朱子学」を導入して役人教育を行いました。基本的には教育の独自性を認めたため、各地にさまざまな学校・塾・寺子屋が設けられました。青森県の場合、弘前や八戸のような城下町はもちろん、町場の青森や黒石にも、あるいは郡部の農村にも読み・書き・そろばんを教える人がいて、子どもたちの面倒を見ていました。

明治時代に入るまでは、日本人の間に「国家」という意識が弱く、統一的な教育システムがありませんでした。そこで、明治4年(1871)7月18日、明治政府は文部省を設置し、わが国の近代教育制度の構築に着手しました。明治5年(1872)には基本法令の「学制」が公布され、青森県でも小学校や、中等学校・高等教育機関が設置されました。

日清・日露戦争に勝利し、第一次世界大戦でも連合国の勝利に貢献したわが国では、政府の富国強兵策を成功と評価する声があがりました。その基盤である教育水準向上の努力が無駄でなかったとの実感

が生まれ、大正期には自由主義教育の風潮も芽生えました。しかし、昭和前期の軍国化により、学校は、思想教育の波に飲み込まれていきました。

この特別展では、幕末の藩校や寺子屋に始まって、明治前期の近代学校教育の導入、明治後期から大正期における学校制度の変容、昭和戦前期の軍国教育の実際、戦後の民主主義教育の展開から現代まで、本県の学校教育の歩みをたどります。また、昭和40年代の教室を再現し、懐かしい小学校の在りし日を振り返ります。(竹村 俊哉)

○期間 7月25日(水)～8月26日(日)9:00～18:00

○場所 当館1階・特別展示室(大ホール)

○記念講演「学校と怪談・怪異」

【講師】小山隆秀氏(当館ゲストキュレーター)

【期日】8月11日(土)13:30～15:00

【場所】当館1階・小ホール

## 今日の課題 特別展「ぼくらのがっこう」を知ろう

展示構成は7コーナー。それぞれを「授業」になぞらえました。

- I 「1時間目 学校のあゆみ」  
江戸時代や明治・大正期の教科書、戦後の墨塗り教科書など、貴重な資料が並びます。
- II 「2時間目 教室の思い出」  
実物大の教室をリアルに再現。木の机や椅子に座って、思い出話に花を咲かせましょう。
- III 「3時間目 学舎の風景」  
昭和中期に撮影された貴重な写真をパネルで展示します。
- IV 「給食」 給食にも歴史あり。本物そっくり再現した給食レプリカや食器が年代別に。
- V 「昼休み」 ひと休みして、カードに学校の思い出を書きこんでください。
- VI 「学活」 遠足・運動会・修学旅行など、楽しかった行事のあれこれ。
- VII 「放課後」 おもちゃや家電。お菓子や雑誌。子どもの頃に胸ときめかせた懐かしい品々。



懐かしの給食(再現)



筆入れ(東北歴史博物館蔵)

## なんだろう？「出前授業・移動博物館」

～こんにちは、青森県立郷土館です！～

「出前授業・移動博物館」は、当館の資料を持って依頼先へ出向き、展示や体験を行うものです。

写真は4月25日、むつ市立川内小学校6年生社会科で、縄文時代の人々の生活について先生と一緒に授業をした時の様子です。実物にじかに触れたり、使い方を体験したりすることで、子どもたちは興味が高まり、縄文時代をより身近に感じられたようでした。

「出前授業」は「子どもたちの学習意欲を高める」と、先生方から好評をいただいています。学校以外の施設で行う「移動博物館」と合わせ、昨年度は96回実施しました。今年度もすでに約30件の予約が入っています。県内どこへでも出向きますので、気軽に声を掛けてください。(佐藤 琢)



## 【資料紹介】菅江真澄「外浜奇勝」

津軽滞在中に書かれた唯一の現存直筆本—平成23年度寄贈資料

### 1 「外浜奇勝」の寄贈

平成23年3月、青森市の成田家から、歴史美術関係資料約3000点が寄贈されました。幕末維新期の津軽画壇で活躍した平尾魯仙（ひらおろせん）の絵画や、その弟子である佐藤蓓（さとうしとみ）の植物画、さらに貴重な和本類や稀観書（きこうしょ）が含まれています。成田氏のコレクションとしては、亀ヶ岡土器を中心とする考古遺物資料が有名ですが、それらとはひと味違った価値を持つ、貴重な資料群と言えます。

資料整理が終わった平成24年3月、成田家から、菅江真澄「外浜奇勝」も寄贈したいとの意向が伝えられました。菅江真澄（すがえますみ）は江戸時代後半に東北・北海道を広く旅し、人々の生活や習俗を克明に記録した紀行家で、終焉の地である秋田県には多くの直筆本が残っています。それらは国重要文化財や秋田県指定有形文化財に指定され、画像データベースで公開されています。しかし、青森県には真澄の直筆の資料そのものが少なく、津軽滞在中に書かれた日記類としては、この「外浜奇勝」が現存唯一のものとして残っています。



「外浜奇勝」表紙

### 2 「外浜奇勝」について

「外浜奇勝」は前編と後編を合わせ、1冊にしたものです。真澄はこうした本を知り合いに預け、訪問したつど書き加えたり、持ち帰ったりしたと考えられています。持ち帰る機会がなかったものは、各地で大切に保管されていたようです。

真澄は天明5年（1785）夏以降、3度にわたって津軽入りしており、「外浜奇勝」は寛政8年（1796）ごろに書かれたようです。表紙の見返しに、同書を保管していた弘前の俳人三谷句仏（みたにくぶつ）が、江戸定府の弘前藩士山鹿次郎作（やまがじろさく、名は高厚）に贈った、との書き込みがあります。これにより、津軽から江戸に持ち出されたいきさつが分かります。

大正11年（1922）、佐藤蓓が東京の古書店から「外浜奇勝」を入手して青森へ持ち帰りました。その後、成田家に譲られ、当館に入るまで、200年以上の時が流れたことになります。

菅江真澄の著作は青森県の歴史・民俗学の研究上、大きな価値を持っており、今後の活用が期待されます。

(本田 伸)



「外浜奇勝」十三湖

○「外浜奇勝」公開予定  
十月十日(水)～十一月七日(水)  
企画展『寄贈記念 成田彦栄コレ  
クション』で展示します。



「外浜奇勝」黒崎から津梅川、大間越の関所



「外浜奇勝」七ツ流